

ちば里山新聞

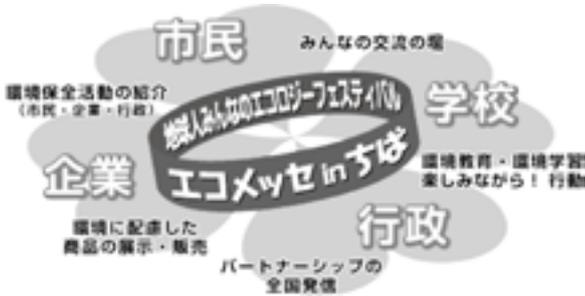
(第29号)

編集・発行 NPO法人ちば里山センター
袖ヶ浦市長浦拓2号 580-148
電話 0438-62-8895
題字 倉島 貴浩
(ワークホーム里山の仲間たち)

ちば里山新聞は千葉県からの委託事業を受け、特定非営利活動法人ちば里山センターが編集発行しています。

「東北地方太平洋沖地震」はこれまでに経験のない甚大な被害をもたらしました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。共に復興に向けて努力をしていきましょう。

エコメッセ2011 in ちば 開催



エコメッセは、持続可能な社会の実現をめざして、市民・企業・行政のみんなが良好なパートナーシップのもとに協働し開催する環境活動見本市です。子どもも大人も みんなでつくる環境のためのお祭りです。あなたも私もちばの環境の輪を拡げよう!!

平成23年9月4日(日)

千葉県内最大の環境活動見本市が開催されました。

来場者 12,000人

市民活動団体・企業取り組み・大学の取り組み、行政等の環境に関する取り組み等、多彩な活動が一同にかいしての、情報交換の場となりました。また参加者も子どもから大人まで幅広い年代参加となり、開場は大変盛況でした。

ご協力いただいた皆様、ご来場の皆様に対して、実行委員長 桑波田和子氏は謝辞をホームページにて、述べています。<http://www.ecomesse.com/>

当日開場にて

千葉県生活協同組合連合会、ちばデザインネットワーク、ガールスカウト、利根コカ・コーラボトリング、ちば里山センター等に**感謝状**が贈られました。



環境と経済「ちば最大の環境活動見本市」

エコメッセ2011

9/4日 入場無料 in ちば
10:00-17:00

会場 幕張メッセ 国際会議場 3号 エコメッセ2011特別会場

エコメッセは、イベントの成功は主催はあなたです。

はじめの一歩

「イザ」カエルキャラバン」

エコハビ・カフェ
「ちば」から暮らしよう!
3.11後の私たちの暮らし」

震災セミナー
「千葉県の液状化と放射能について」

エコメッセで使う電球は環境にやさしいグリーン電力です!

<http://www.ecomesse.com>

2011国際森林年を契機とした取組の展開について

1 国際森林年とは・・・

「国際森林年」は国連が定めた年ですが、なぜ2011年「国際森林年」なのでしょう。実は「国際〇〇年」というのは他にもあって、例えば「国際人権年」や「国際イモ年」なんていうものもあります。それは、国連が重点的に問題解決を図るために全世界の団体や個人に呼びかけるための期間として設定されます。つまり、現在森林に関する問題が解決されない状況にあるから、世界の皆で解決に向けて協力しましょうということになります。これはあまり知られていませんが、今から遡ること26年前の1985年も実は国際森林年なんです！当時は、熱帯林の急激な減少・劣化が国際的な問題として認識されるようになったことから定められました。

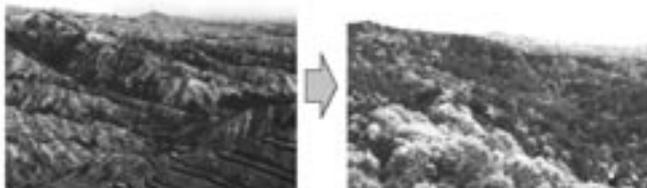
それでは、現在の森林に関する問題とはどのようなものなのでしょう。世界の森林は依然として減少しており、その面積は1990年～2010年の間で我が国の国土の約4倍にも達しています。また、我が国の森林の蓄積は、1965年～2007年の約40年間で約2.5倍となっている一方、木材の自給率は3割弱と外国からの輸入に頼っていることから、森林が活用されていない、また間伐等の手入れが遅れることで森林がもつ多面的な機能が低下している森林が多くなっています。新たに国産材を利用することで日本の森林・林業を再生していく取組が求められています。このため、2011年は、世界の森林の減少・劣化をくい止め、持続可能な森林管理・利用を拡げていくために、「国際森林年」と定められました。

これらの問題を国民の皆様と共有して解決する機運を高めるために、企業や団体などの国民の皆様のご協力を得ながら、国際森林年国内委員会を事務局として広報活動やイベントなどを実施しています。また、我が国では森林と関わる入口として、まずはできることからはじめてみようという思いを込めて、「森を歩く」というテーマを設定しました。

我が国の森林

- 日本の森林は、人口の増加や産業の発展により荒廃してきたが、戦後の先人たちの森林造成の努力により、緑豊かな国土を形成。先進国有数の森林率(68%)を維持。

滋賀県野洲市



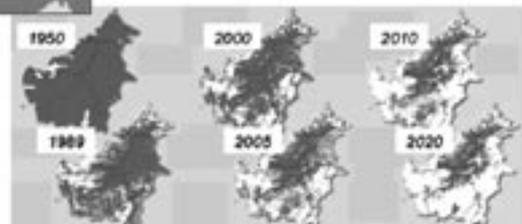
(戦前)

(2009年)

ボルネオ島での森林減少



- ボルネオ島(カリマンタン島)はマレーシア・インドネシア・ブルネイの三カ国にまたがる熱帯林地域で、日本の約1.9倍もの面積がある世界で3番目の大きさの島。違法伐採などにより森林が減少している。



2 我が国の森林・林業の再生、世界の森林に関わる問題の解決に向けて

国際森林年は、「森を歩く」ことなどにより森林の素晴らしさを知って頂くことから始まり、国民の皆様には日本の森林・林業の抱える問題を共有するきっかけになると考えられます。

重要なことは、国際森林年が終わった後も、本年の国際森林年の活動で得られた国民の皆様とのつながりを糧に、森林に関わる問題の解決に向けた取組を一層推進することです。

それには、林業関係者だけではなく、森林ボランティアの活動をされている方や森林を所有している方、また企業のCSR活動の一環として森林に携わっている方など、地域の様々な方のご協力が重要になってきます。

林野庁では、森林ボランティア活動や企業等のCSR活動の支援や、国民の皆様にも広く森林づくりや木づかいに参加頂くための国民運動を、これからも実施していきます。



来年2012年は、「地球サミット(Rio+20)」が開催されますので、引き続き世界の動き、また我が国の森林・林業の再生の取組に目が離せません！

林野庁 研究・保全課

森林保全推進室 岸田 周

「三菱UFJ環境財団」取り組み紹介

三菱UFJ環境財団は、三菱UFJフィナンシャル・グループの社会貢献活動および環境への取組みの一翼を担う財団として、環境の保全及び環境教育を通じて公共の福祉の増進に寄与することを目的に、環境保全整備事業、環境教育事業、体験活動事業などの幅広い活動を行っています。（当財団は、1971年創設の(財)サンワみどり基金と1975年創設の(財)東海財団とが統合して、2003年4月にUFJ環境財団として発足し、2006年4月に三菱UFJ環境財団に名称変更しました。）

環境保全整備事業・環境教育事業・体験活動事業などを行っており支援内容も多彩です。

植樹活動を支援

みどり豊かな森や街づくりを目指し、水源や河川流域、学校や公園等公共施設を対象に植樹しています。市民団体や行政と連携して、また三菱東京UFJ銀行・三菱UFJ信託銀行・三菱UFJモルガン・スタンレー証券の支店の紹介を通じて、これまで40年間に、全国14,000箇所に100万本強の木を寄贈しました。例えば、河川流域では、現在、気仙沼の「森は海の恋人」運動、「足尾に緑を育てる会」の植樹活動、堺臨海部の「共生の森」づくり活動などを支援しています。

学校ビオトープづくりを支援

子供たちの環境学習の教材として活用してもらおうと、専門指導員のいる団体と提携して、生徒と先生、父兄、地域住民が協働してつくる学校ビオトープづくりを支援しています。

里山保全を支援

日本の文化と様々な生き物を育んできた、いわば心の原風景ともいべき里山の保全活動を応援しています。現在、奈良県明日香村「飛鳥川の原風景を取り戻す仲間会」、春日井市「癒しの森づくりの会」、岡崎市「おかざき自然体験の森・きこりの会」、厚木市「鷲尾山に桜を植える会」、東京都日の出町「花咲き村」、枚方市「枚方里山の会・穂谷」など全国6ヶ所での活動を支援しています。

「みどりの絵」コンクールの主催 ★後援：環境省・毎日新聞社

大学向け寄附講座「環境概論」の開講

大学における環境教育の充実を目指して寄附講座「環境概論」を開講しています。すでに上智大学、同志社大学、一橋大学、東京農業大学、名古屋大学、上智大学で順次開設。21年度からは東京学芸大学で「多彩なアプローチによる環境学習」として開講しています。学生はもちろん、社会人の履修も可能です。

啓発図書の発行

ポケット・サイズの植物図鑑「樹の本」「続・樹の本」「野草の本」「花の本」「高山植物の本」やガイドブック「中部の山々」、地域の自然観察のための手引き冊子「なごやの環境指標種100」「大阪の環境指標種100」など多数の啓発図書を発行し、ご希望の方に配布しています。



「水源の森」体験事業

利根川の源流域にあたる群馬県みなかみ町藤原に、国の分収育林制度を活用して「水源の森」を確保。水源の涵養を図るとともに、一般市民・児童を対象に自然観察会、林業体験などを開催、自然ふれあい学習や保健休養の場として活用しておりますので皆さま是非ご参加下さい。

千葉県内で支援が始まっています。活動報告が届きましたらお知らせいたします。

特定非営利活動法人ちば里山センターは三菱UFJ環境財団が千葉県内での活動支援を行うときのひとつの相談窓口として、今後も取り組んでいきたいとおもっています。

財団法人 三菱UFJ環境財団 東京都大手町1-1-1 Tel. 03-3214-5553
mukankyo@w6.dion.ne.jp



国際森林年 「森を歩く」 イベント情報

2011年「国際森林年」です。

もっと多くの人に「森の大切！」を実感していただき、身近な森「里山」を知ってもらいたい！
里山活動に取り組む団体と特定非営利活動法人ちば里山センターが協働して行う「森を歩く」の各イベントにご参加下さい。皆様のご参加をお待ちしています。

特定非営利活動法人ちば里山センター主催及び共催イベント

チェーンソーの基本操作と間伐／自然観察会

日時 11月27日(日) ※雨天時12月4日
場所 君津青葉高校 一念坊学校林
参加費 500円(保険代等)

里山のバードウォッチング

日時 12月10日(土) 9:30
場所 房総風土記の丘
参加費 300円(保険代等)

日程	タイトル	内容	場所	団体
10/10	きのご観察	里山を歩きキノコの観察をする	豊英島	ちば千年の森を歩く会
10/22	森の音楽会	オカリナの演奏・発表	船橋県民の森	船橋里山の四季
10/23	癒しの森のウォーキング	癒しの森を歩く	市原米沢の森	市原米沢の森を考える会
11/19	森を歩き、秋をたくさん 見つけるネイチャーゲーム	森を歩き、秋をたくさん 見つけるネイチャーゲーム	船橋 県民の森	ふなばしネイチャーゲームの会
11/23	自然観察体験会	植生や昆虫などの観察 立木の伐倒見学・玉切り、他	おとずれ山	おとずれ山の会
11月 中旬	里山ウォーク	里山をゆっくり歩く		あさひクヌギの里
11月 調整中	山武杉林や広葉 樹林の散策	里山散策とログハウスの 屋根の張替え	山武	山武に雑木林をつくる会
11/26	秋の里山を歩く	足元の草花と会話をする	安馬谷	安馬谷里の研究会
11/27	貝殻の小路開通記念	貝殻の道を歩く及び 小学生コンサートなど	鎌倉街道	里山を歩く会
11/30	自然観察	森を歩く	古敷谷	いちはら里山クラブ
12/3	パノラマ景観ウォーク・餅つき	里山を歩きその景観を楽しむ	米沢の森	市原米沢の森を考える会
12/11	かぎろいを観る会	日の出前から早朝の里山を歩く	米沢の森	市原米沢の森を考える会
12/28	正月飾り作り	里山を歩き正月飾りの 材料を集める	古敷谷	いちはら里山クラブ
12月 調整中	里山ウォーク	都市周辺の里山を歩く		住みよい地域づくり 推進協議会

※詳細については、ちば里山センターホームページをご覧ください。※参加お申し込み・問い合わせ先

特定非営利活動法人 ちば里山センター

TEL 0438-62-8895 FAX 0438-62-8896
e-mail: info@chiba-satoyama.net

